

第4回 恵那市公園在り方検討委員会 会議録

日時：令和5年10月23日（月曜日） 10：00～

場所：恵那市役所会議棟 大会議室

1. 開会
 2. 委員長あいさつ
 3. 報告
（1）第3回委員会のまとめ
 4. 議事
（1）公園在り方指針（案）について
（2）今後のスケジュールについて
 5. 閉会
-

- 公開又は非公開の別

公開

- 出席者

磯部友彦委員長、坪井弥栄子副委員長、渡辺武彦委員、柘植昭男委員、安藤常雄委員、三宅祥市委員、井口里織委員、矢頭重保委員、森岡哲郎委員

- 欠席者

保母鎖利委員、野々山哲史委員、三宅弘文委員、梅本里美委員、岩井慶次委員、石垣寿子委員、

- 傍聴者

0名

開会

大宮建築住宅課長にて開会の言葉。資料の確認。欠席者の報告。会議の成立を行った。

委員長あいさつ

磯部委員長

暑い夏が終わり、季節の変化が目に見えてわかるようになった。公園は季節によって目を楽しませてくれるので、いいものだと思う。
前回第3回はいろんな議論を行った。問題点も整理できたと思う。それを改めて本日は指針にまとめていきたいと思う。

報告（1）第3回委員会の振り返り（資料1）

西尾主事の説明により、前回委員会の振り返りを行った。

議事（1）公園在り方指針（案）について

事務局

（西尾、遠山）

（公園在り方指針（案）について）説明

磯部委員長

基本方針の中で、拠点公園と地域公園というものの位置づけ、配置案が示されました。そして、整備・運営の方法についての話だった。
皆様の意見はいかがでしょうか。

矢頭委員

避難場所、防災倉庫と公園の関係というのは、問題として挙げられていたか。防災関係について説明してほしい。

事務局（遠山）

拠点公園に関しては、防災的な位置づけがある。例えばまきがね公園は広域の防災拠点であり、クリスタルパークも地域の避難場所になっている。地域公園についても、例えば学校や地域の集会所など、既存の防災拠点はあると思う。これから地域で公園を考えていく際に、「実は計画地のそばに広場があって、防災の機能も持たせたい」というのであれば、それも併せて考えていく。防災の役割を持たせないというのであれば、それを地域の意見として捉える。それぞれ地域で実情が異なるので、ヒアリングをしながら進めていきたいと思う。

柘植委員

まず、地域公園の事業費はどのくらいを計画しているのか。結局、つくるといってもお金がなかったら、「なんだこんなものか」ということになる。
それと、中野方町では保護者会とかPTAとか、壮健クラブとかに集まっていたいで、地域のどこにつくったらいいかという話を具体的に検討している。時間は十分とっていただけなのかを聞きたい。
それともう1点。笠周エリアでは、3町連携して色々取り組んでいこうという計画を立てている。その中で、笠置峡のエリアの整備をきちっとされるといいと思っている。今回の指針では入らないのか、また別の制度でしていただけるのだろうか。
しかも、中野方町には望郷の森がある。これは公園として捉えているのかどうかかわ

からない。中野方町には公園がないけど、先ほどの資料では中野方町にたくさん公園があった。どこの話なのか知りたい。

事務局 (遠山)

3つ質問いただいた。1つ目の予算について。公園のつくり方によって変わるが、地域公園はおよそ2,500~5,000㎡と想定していて、一般的に、遊具と東屋をつけ、芝を貼るとなると、大体5000万くらいかかる。市の方ではこの金額を目安として考えている。実際まだ予算も確保していないし、公園のつくり方によって変わる。

2つ目の時間について。これから地域で話し合いをされると思う。特に期限は決めていないので、準備ができているところから予算化し、整備していきたいと考えている。前回の会議でも申し上げた通り、13地域全部に公園をつくっていききたいと考えている。ペースはそれぞれ地域で考えていただければ、我々はそれに合わせて事業化していきたいと考えているので、急いでもらうわけでもない。

3つ目の、具体的に笠置峡についての話について。先ほど人の営みの話をした。例えば観光的な施設はどうか、スポーツは？ということもある。日常使いする公園の性質はありつつも、観光やスポーツなどの性質をもつ施設だということもあると思う。ですので、作れないというわけでもない。

望郷の森については公園として捉えている。

渡辺委員

概要版の5番、公園の整備・運営について、特に運営の話だが、維持管理を地元でやってよ、というと、ちょっと地元としてはハードルが上がってしまう。

どこまで地元が維持管理していくか考えていれば、教えてほしい。

事務局 (遠山)

市の公園管理は大きく2つあり、トイレ掃除や草刈りといった日常の管理と、遊具や施設の点検がある。1つ目は施設管理公社やシルバー人材センターにお願いし実施している。2つ目の遊具や施設については、1年に1回の点検を行い、必要に応じて修理も行っている。今回特に我々が想定しているのは、日常の管理。草刈りやトイレの管理など。日常使われる方や地域のお住まいの方で、もし協力していただければと思っている。細かいことだが、公園の数が多いと経費がかかってくる。例えば地元の皆さんとか、企業さんとか、ご協力いただけないかと考えている。

2つ目の点検や修理は、市が設置するので設置者として必要なことはやっていく。

坪井委員

資料3には武並と三郷が載っていないが、ここも地域の意見をもとに整備するのか。

事務局 (遠山)

以前自治区会長向けにアンケートを実施していたが、10月にも改めてお願いした。地域との話し合いが必要と考えている。その結果を待って、また必要であれば事務局で地域の会議に参加し、どんな公園をつくりたいか聞いていく予定。

渡辺委員

整備のイメージ図だが、確かに13個丸がある。武並、長島、大井、東野は拠点公園を整備するので地域公園はないよ、という風に判断すればいいか。

事務局 (遠山)

そこは特に決めていない。先ほど4つ例を挙げた拠点公園は、どちらかというと市が都市計画の施策としてやっていきたい公園。そこにお住まいの方というより、他地域

から市民のみなさんが集まっていたくために、いろんな要素を置くような公園になっている。地域が望む公園とはほぼ変わってくる可能性がある。地域と拠点は別で考えている。

渡辺委員 そうすると、この図面上では上がってこないけど、地域の要望があれば2つできるということか。

事務局 (遠山) 武並はクリスタルパークというキーワードを具体的に出している。市としては瑞浪恵那道路の開通は市に必要なインフラ整備の一環として考えている。それとは別に地域公園の案があれば、案を踏まえて地域公園として整備を進めていきたい。

磯部委員長 柔軟性があると解釈してもらえたらいいと思う。
これは公園の在り方の指針であって、公園の位置を決めるとか、内容を決めるとか、完成時期を決めるとか、そういうことではなくて、どうやるかという方向性を整理するもの。当然ながら、今後実際に公園整備を進めていくと、こうした方がいいのではないか、という意見が出てくると思う。そうなったら、この指針が公園整備の大前提っていうことを整理しておく、いろんな議論が進むと思う。

議事 (2) 今後のスケジュールについて

事務局 (西尾) (今後のスケジュールについて) 説明

磯部委員長 パブリックコメントとは、市民の方に今日のような資料を公開し、ご意見をもらう、ということだ。それを受けてまた最終的に調整が必要だったら議論するということだった。皆さんからご意見いただきたい。

事務局 (遠山) また地域に持ち帰っていただき、指針を読んだいただき、何かあれば言っていただけると大変ありがたい。パブリックコメントがどのように出てくるかわからないので、それによってまた委員会を開き、指針の修正・見直しにお時間いただきたい。パブリックコメントでいただいたものについては、委員の皆様にはお知らせする。

矢頭委員 議会でも説明されるのか。

事務局 (遠山) 議会の方にも、パブリックコメント前に情報提供する。

森岡委員 指針の概要について、ちょっと教えてほしい。
位置付けとして第2次基本計画などが出ているが、どんな位置づけか、そのことについて詳しく説明してほしい。

事務局 (西尾) 本編の9ページに上位計画について説明が載っている。
第1節で恵那市第2次総合計画を載せている。続いて第2節に都市計画マスタープランを紹介している。

続いて第3節には緑の基本計画を載せている。
上位計画の紹介は、指針にはこの3つを紹介している。

磯部委員長 この委員会はいつまで責任をもってやるのか。

事務局 (西尾) パブリックコメントを受け、11月末に最終調整として委員会を開きたいと考えている。これで公園在り方検討委員会が終了、という形になる。

磯部委員長 この指針を作成するというのが、この委員会の目的ということだ。
他に意見がないようなので、進行を事務局に移します。

閉会

大宮建築住宅課長にて閉会の言葉。